

2023年(令和5年)活動報告

(1、事業実施の成果)

NPO法人植野たすけあいでは令和2年4月1日に発足して、これまでの日常生活支援事業における高齢者の介護事業は年々利用者が増大しており、手助けをするボランティアが不足する状況になっていました。ボランティアの活動がないと植野たすけあいの活動が続けられなくなっていきます。そのためボランティア獲得に向けての講習会や、啓蒙活動を積極的に取り組んできました。更に、ボランティアや利用者の安全対策のため、福祉有償運送運転者講習にも取り組んできました。植野たすけあいでは、令和5年度から新たな介護サービス事業として、高齢者が住み慣れた地域で住み続けて、ワンラック上の介護支援を望まれる方が増えてきました。こうした生き甲斐のある生活を望む方への対応として、介護保険外サービスに取り組み、市外の病院に行きたい場合は、介護サービスは受けられませんが、市外への送迎等についても行えるようになりました。市外等の送迎の実施について、ボランティアの負担と安全対策の徹底を図るため、令和6年4月からボランティア料金の改訂を行い、利用者にはご負担が増えることで、大変恐縮ですが、事業の存続していくための措置でご理解のほどお願い申し上げます。令和5年度からはこどもの未来に貢献するための事業に取り組んできております。引き続き、6年度も可能な限り。これらの事業にも取り組んでまいります。これまで通りの生活ができて地域社会が活性されることで、人生に花を咲かせます。

私たち植野たすけあいでは皆様が、健康で生きがいのある生活を支援していきたいと思い、活動を行ってきました。これからも、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。この1年の活動は次のとおりです

(1) 総会、理事会、理事連絡会の開催

①通常総会 令和5年4月14日(金)

②理事会・理事連絡会の開催

(理事会5回・第15回～第19回) 第15回 令和5年5月25日(木)

第16回 令和5年7月26日(水) 第17回 令和5年10月25日(水)、第18回 令和6年2月15日(木)、第19回 令和6年3月28日(木)

(理事連絡会・5回)

(2) 特定非営利活動に係る事業

①介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業(前年の件数)

(訪問型サービスB事業) 病院の送迎471件(321件)、薬の受け取り1件(0件)、スーパーへの買物93件(108件)、美容利用、知人宅送迎38件(26件)、日曜大工0件(1件)、部屋の片付け0件(2件)、庭の草取り21件(53件)、枝切り11件(18件)、ゴミ出し2件(7件)、話し相手0件(3件)

② 高齢者の外出支援D サロン会場への送迎174件(58件)

③ 安心電話サービス事業 安心電話49件(74件)

④ ホームページ <http://uenotasukeaixdomain.jp/index.html>

⑤ 会報等の発行 植野地区、新聞折込、各地区社協等に配布

第11号 5.1発行 第12号 9.1発行、第13号 10.1発行、第14号 11.15発行、第15号 3.1発行

マスコミ等への放映、取材

テレビ放映 令和5年10月25日放映 テレビ東京「昼めし旅」

佐野ケーブルテレビ 令和5年7月5日からハッピー取材放映

下野新聞掲載 6月22日 居場所紹介、令和6年2月20日JA佐野～ランチの寄贈、

そのほか男女共同情報紙パレットで植野たすけあいの紹介、佐野社協だよりにこども食堂やフリースクールの紹介、佐野ボランティア協会会報にボランティア講習の紹介

(3) ボランティア養成講座、研修会の企画運営

① ボランティア養成講座

令和5年度佐野市民活動参画支援事業の指定を受けて、笑顔あふれる社会の次元に向けて、ボランティアの確保に向けて養成講座を開講しました。

ボランティア養成講座は一般ボランティア講座とチャイルドボランティア講座に分かれて、それぞれの活動に必要な基礎を習得して、ボランティアとして活動に取り組んでもらうものです。

㊦ 一般講座は、主に送迎ボランティアとして、活動を行うもので第1回講習は、10月14日に開催、次回、11月18日に福祉有償運転者講習を受けて、10名のかたが、有償運転者として活動できる運転者として、許可書が交付されました。



①チャイルドボランティア講座は、植野たすけあいが行う、こども食堂や、フリースクールで子どもと一緒に楽しんだり、学習や相談などを行うにあたり、こどもや親との会話や話し合いについて、基本的な心得を学んで、接していただくための基礎講座を普段行っている先生から体験していただく、講座で、第1回を10月14日、第2回を11月3日に行い、30名が参加しました。

②有償運転者講習は 11月18日 元若宮保育園跡で 10名の方が、有償

運送講習を受講しました。



③第3回公開講座 NPO法人植野たすけあい、佐野ボランティア協会、植野地区社協の3団体共催で実施。12月8日(金) 勤労者会館、講師に元厚労省雇用均等・児童家庭局児童健全育成専門官の柳澤邦夫氏を招いて、ボランティアなど約60名が参加して開催しました。柳澤氏はこども家庭庁の創設や国のこども制策に関わっており幅広い知識と経験を織り交ぜての講演に、皆さんが感動されました。

(4) 視察・現地研修

- ① 令和5年6月21日 赤見地区社協役員が、赤見地区でたすけあい事業を始めたいということで、視察に来所。
- ② 9月25日大田原市社協から約20名が植野たすけあい事業を視察に来庁、意見交換を行った。
- ③ 11月19日宇都宮市社協から20名が視察に来庁され、植野たすけあい活動を視察し、互いに意見交換を行った。
- ④ 11月24日に市外病院の独協医大、自治医科大、群大病院の送迎実習体験に10

名が参加して、現地研修を行いました。

(6) その他

寄附金等の募金活動

1月～12月まで寄せられた寄附金の件数は130件818,000円のご寄付をいただきました。また子ども食堂の活動にどまんなかたぬま様、JA佐野様、フードバンクなど5件の食材の提供がありました。

(7) 令和6年3月末の会員及びボランティアの状況

正会員13名、法人1名、賛助会員 個人99名、ボランティア登録者120名
利用登録者430名

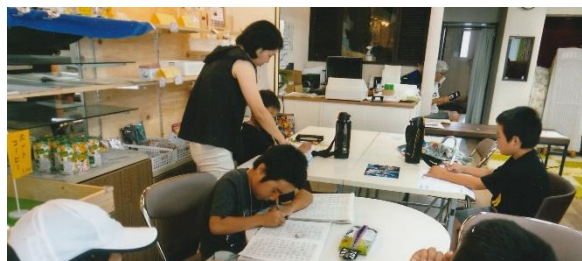
子どもの明るい未来を応援する事業報告について

(子どもの未来応援事業)

① 子ども食堂は、地域の子育て中の親子を支援する。ゲームや食事を楽しんでもらい、社会的なマナーや親子のコミュニケーション、地域とのコミュニケーションを図る。栄養士、調理士、配膳等のボランティアにより、毎月、メニューを決めて、食材の選択、調理し、親子で食事をとる。調理場所を植野地区公民館に変更したが、コロナ以降公民館では飲食ができないことから、調理と食事場が一緒にならずお弁当を作って、配布したが、9月からえがお会館で親子が食事をとれるようになった。公民館で弁当配付を20食、えがお会館で親子20組による食事会を開催。主なメニューは5月唐揚げ、6月は唐揚げ、7月はハンバーグ弁当、8月は生姜焼き、9月唐揚げ弁当、10月カレー、11月すき焼き弁当、12月は稲荷ずしを提供しました。

② 寺子屋学習支援

㉞ 夏休みの宿題学習 8月1日から22日までの6日間開催、こども未来応援事業の支援を受けて、寺子屋学習支援を夏休み期間の6日間（受講料無料）大和町の子ども支援拠点施設えがお会館で開催された。小学生低学年1年生から3年生までの8人と高学年4年生から6年生まで6人、14名の子どもたちが指導員の元教員や大学生のボランティアから、夏休みのドリルやポスター、作文などの宿題を熱心に勉強されて、父兄からは夏休み期間、だらだら過ごすことなく、有意義に楽しく勉強できたと大変満足でしたと喜んでいました。



㉟ 高校進学学習支援 9月～受験5教科を15日間指導 こども未来応援事業の寺子屋学習の第2弾として、今年高校受験を希望する中学3年生を募集し、受験科目5教科にそれぞれの教科に5人から8人が応募され、9月から12月まで15日間無料で開催されました。この進学支援講座は今回が初めてで3人の元教員、塾講師などが講師ボランティアを務め熱心に指導されました。受講生からは基礎から学ぶことができた感謝の言葉が寄せられました。この進学講座

の受験生は全員が志望校に合格して、4月から高校生としてスタートしました。

㊲ 野外学習支援 蓬山でバーベキューとマスのつかみ取り、初体験でいい思い出に

こども未来応援事業のひとつである野外学習事業として、8月3日に17名の市内の小学生と親、理事やボランティアが貸切バスで佐野の奥山、蓬萊山の麓にある蓬山キャンプ場で全員が初めての経験のバーベキューとマスのつかみ取りを行いました。参加した子どもは夏休みのいい思い出になりました。

③ 子どもの居場所「えがおになあれ」

こどもの未来応援事業の目玉事業の一つが、こどもの居場所「えがおになあれ」で、5月から活動準備して、6月から毎週水曜日にえがお会館で9時から3時まで開催されています。現在高校生から小学生までの3名のお子さんが通所しており、時折遊びに来るお子さんもいるなど学校、家庭以外の第3の居場所として無料で利用でき、高校生までのお子さんが通所できるのが、特徴となっています。居場所の活動をしているのは、子育て経験のあるボランティアが運営しており6月から2月まで43回開催しております。1日の流れは9時から11時まで、学習、11時から昼食の準備、12時から食事、13時から政策やゲームなどで過ごしています。この5事業について、子どもや保護者からこども食堂事業については6月と12月の2回、そのほかは最終日にアンケート調査を実施しました。5事業に参加者72名のうちアンケート回収者は63名（回収率86%）であり、回答者のうち42名（67%）がとても満足、残る21名（33%）が満足と回答いただき、100%全員が満足と回答をいただきました。事業実施までは大変で紆余曲折ありながら、変更しながら、やり遂げられたことに満足しています。当初申請した計画で、希望者が集まらず、やむなく、途中で計画を変更しながら、



ボランティアや役員が一丸となって事業をやり遂げられたことで、ホットしたところです。とても満足と回答した主な意見はこども食堂ではクリスマスコンサートの音楽が良かった。子どもへのプレゼントが良かった。美味しかった、楽しいイベントなど。居場所づくりではゲームや料理が楽しかった。楽しく、勉強ができた。学校以外で、楽しかったなど。寺子屋事業ではみんなと勉強できて楽しかった。夏休みだらだら過ごしがちだが、家族以外に勉強を教えていただき、刺激になって良い。進学支

援では忘れていた部分を取り戻せた。わかりやすく、指導してくれた。テストの点数が上がった。野外学習支援ではバーベキューやお肉がおいしかった。魚釣りが初めてだったので、楽しかった。など。